

令和 7 年度医療的ケア児等の避難訓練実施報告

福祉サービス部障がい者支援課

実施日時	令和 7 年 10 月 2 日（木）13 時 00 分から 14 時 40 分
避難対象者	2 名 A さん 10 代 男性 気管切開、鼻口腔吸引、経管栄養、身体障害者手帳 1 級 B さん 40 代 女性 定期的な導尿、身体障害者手帳 1 級、療育手帳（A）の 1
訓練参加者	対象者、対象者の両親、対象者の相談支援専門員（ほほえみ、らしんばん）、 ぽらりす、よつかいどう福祉会理事長、よつかいどう福祉会職員、下志津病院 職員、障がい者支援課長、障がい者支援課員
見学者	医療的ケア児等支援協議会委員[相談支援専門員（ひだまり、あわい、かけはし）]
避難先	各自宅 ⇒ 生活介護はちみつ（四街道市たかおの杜 15-5）
避難訓練対 応時間	
13：00	（想定）地震発生 自宅内被害状況確認⇒自宅避難判断 停電長期化想定により避難の判断 家族より障がい者支援課に避難所の開設確認連絡
13：05	障がい者支援課より生活介護はちみつへ避難所の開設可否連絡 （無線機を使用した連絡を実施） 障がい者支援課より危機管理室へ避難実施の連絡
13：20	⇒避難所より開設可能の回答あり 障がい者支援課よりご家族へ避難可能の連絡 家族避難準備
13：30	対象者の車が自宅を出発（A さん、B さん 車での移動避難）
13：43	A さん避難所到着
13：45	B さん避難所到着
13：50	A さん、B さん避難所受付 A さん避難場所での電源確保、体調確認、生活準備 B さん避難場所での電源確保、体調確認、生活準備
14：05	避難完了、振り返り実施
14：40	終了

<p>●家族 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に近い形で訓練を実施でき、大変有益でした。 ・短期入所のリストを参考に準備を進めましたが、防水シートやクッションなど一部の物品を忘れてしまいました。訓練を実施した後から、改めて必要な物に気づかされる点もありました。 ・夏季は冷却用品、冬季は保温用品が必要となります。今回の訓練を通じて、不足する物品を具体的に認識できました。 ・リストを作成して対応しましたが、昼間であったためスムーズに進みました。夜間帯であれば、物品準備はより大変になることが想定されます。 ・事前準備をせずに臨むことで、実際にどのような困りごとが発生するかを体験でき、理解できた点が、最も大きな成果でした。
<p>●家族 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たん吸引を行う際、通し水が必要であり、水の準備も必要でした。 ・避難所での生活にあたり、何が必要になるか事前に把握しておくことが望ましいです。 ・災害時の連絡先や自身の連絡先を、見える場所に掲示しておくことが良かったです。(訓練中に誤って連絡先を伝えてしまう事態があったため)
<p>●参加者 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備は家族で手分けして行い、スムーズに対応できていました。 ・発災後、家の中での確認事項は概ね把握されているようでした。 ・使い慣れない車両への乗り込みに時間がかかっている場面もありました。 ・ピクチャーレールは、胃瘻バッグを掛ける場所として活用できる可能性があります。 ・実際に発電機を動かし、医療機器に繋ぐことができた点は、非常に実践的で有益でした。 ・避難の連絡などは、スムーズに行うことができていました。 ・荷物準備に気を取られ、本人の様子確認ができていない時間もありました。 ・シミュレーションはしていましたが、エアマットや無線機など、実際に利用することで分かることも多かったです。今後、実際に必要な物を具体的に検討していきます。 ・避難者名簿の記載事項や、避難所利用者への配慮事項などを具体的にリストアップしておくことが良いと感じました。実際に避難所のトイレにおむつ交換台を設置してもらえるなど、具体的な対応ができて良かったです。 ・対象者の障害種別や必要な設備・物品に違いがある中での準備は困難であったと思われませんが、受け入れにご尽力いただいたことは大変心強く、ありがたいことでした。 ・避難訓練を通じて、避難者と受け入れ施設が互いの状況(施設の雰囲気や本人の障害像)を知る、貴重なきっかけとなりました。 ・避難訓練の回数を重ねることで、両親が声を掛け合いながら物品の準備を行ったり、反省点を話し合ったりする姿が見られ、ご家族の防災意識の向上が確認されました。

●参加者 課題
<ul style="list-style-type: none"> ・避難所で本人・家族のプライバシーを守るための環境整備が重要と感じました。特に、パーテーション等を活用してスペースを仕切ることで、安心して過ごせる空間づくりに繋がります。
<ul style="list-style-type: none"> ・導尿の対応はベッド上となるため、仕切り（パーテーション等）が必要です。
<ul style="list-style-type: none"> ・本人やご家族が避難所に準備しておいてほしい物品や環境に関する意見を参考にし、可能な範囲で整備・リスト化されていると良いと考えられます。
<ul style="list-style-type: none"> ・今回の避難所に避難者が必ずしも避難するとは限りませんが、避難者の皆様の意見は今後の貴重な検討材料となります。
<ul style="list-style-type: none"> ・避難者の到着に気がつかない場面がありました。スタッフの役割や配置場所を事前に決めておくことで、避難者の受け入れがより円滑になると感じました。
<ul style="list-style-type: none"> ・避難所到着時、1名は裏の駐車場で本人の移乗と荷物の取り出しを行っていました。訓練であった状況においても、受付や施設内誘導を行った方が避難される方にとって分かりやすいと感じました。
<ul style="list-style-type: none"> ・対象者のエアマットの空気が抜けてしまった際、ご家族だけでは対処方法が分かりませんでした。使用方法等の簡単な案内があると良いと考えられます。
<ul style="list-style-type: none"> ・本来、個別避難計画を作成した方が避難されるため、計画書を避難所の職員と事前に確認しておくことが有効であったと考えられます。今後は、一連の流れの理解や把握のためにも、計画書を意識した避難訓練の実施が必要です。
<ul style="list-style-type: none"> ・市役所の方で窓口の混雑と重なり、対応できる職員が限られたため混乱してしまいました。イレギュラーな事態に備えて、対応できる職員の人数を増やすことも必要です。
<ul style="list-style-type: none"> ・避難所ではいつの間にか災害が発生し訓練が開始されていましたが、参加者への挨拶や開始の合図があった方が状況の理解や心構えがしやすいと感じました。
<ul style="list-style-type: none"> ・今回は開設準備訓練も兼ねましたが、参加者全員が開設作業に関わっていた点について、役割分担や参加者の立場を踏まえた対応の検討が必要であると考えられます。事前に役割や対応方針を統一しておくことで、より円滑な運営が可能であったと感じました。
<ul style="list-style-type: none"> ・事前共有と役割確認が十分にできていない点がありました。コア会議などで避難所の方と事前に調整できていれば、もっとスムーズに連携が図れたのではないかと考えられます。避難所と参加者の間で、想定している役割に相違がありました。
<ul style="list-style-type: none"> ・避難所開設依頼時に市とはちみつとの間で、やり取りがスムーズでない点がありました。
<ul style="list-style-type: none"> ・避難所の広さから考えると、8家族が入るのは厳しいと感じました。
<ul style="list-style-type: none"> ・実際の災害時には、対応できる職員が少ないことが想定されます。少ない人数でも対応できるようにするための想定も必要であると考えられます。
<ul style="list-style-type: none"> ・今回の3名のモデルケースを今後どのように活用・展開していくか、検討が必要です。内容をさらに深めるのか、他の医療的ケア児・者へ広げていくのかなど、方向性の整理が求められます。

●避難所振り返り
・受付の書式は、市が用意しているものに統一することにしました。
・テーブルを使用して目隠し（パーテーションの代替）を作成できることを確認しました。
●避難所 課題
・トランシーバーの扱いに慣れておらず、コミュニケーションに時間を要してしまいました。事前に担当者内で取り扱い方のレクチャーが必要です。
・被災状況のチェックについては、指定の書式で確認をとる必要がありました。（後日、導入済みです。）
・避難者の持参物の置き場所をあらかじめ確認し、スペースを確保する必要があります。
・エアベッドのセッティングが不十分だったため、空気が抜けてしまいました。セッティング時は、担当者が見回って確認する必要があります。
・受付のタイミングが到着直後か入室後かで、担当者が困惑する場面がありました。到着時は荷物があるため、入室して荷物を置いた後で対応することで良いことを確認しました。